

令和 8 年度 第 1 回海陽町学校のあり方検討委員会
議事録

日 時：令和 8 年 7 月 6 日（月）18:30～19:40

場 所：阿波海南文化村 海南文化館 大会議室

出席者：委員 16 名中 15 名出席

事務局：（担当課）海陽町教育委員会 三浦教育長、森崎教育次長、吉田課長補佐

（受託者）リージョナルデザイン株式会社 安孫子

■ 会次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 教育長あいさつ
- 4 議事
 - （1） 住民説明会開催について
 - （2） その他
- 5 事務連絡
- 6 閉会

■ 議事（１） 住民説明会開催について

（皆津委員長）

それでは、資料確認をします。資料はいきわたっていますので、議事に入ります。最初に事務局から資料の説明があります。説明を受けた後に質問などをお聞きします。

（事務局）

では、資料 1-1 住民説明会開催をご覧ください。7 月 13 日月曜に穴喰地区、14 日火曜に海部地区、15 日水曜に海南地区で説明会を開催します。時間と場所は表記のとおりとなっております。説明会では、学校再編の必要性や、これまでの学校のあり方検討委員会、教育総合会議などでの検討経緯、今後のスケジュール等について説明するとともに、住民の皆さんからご質問やご意見を伺い、合意形成を進めていきます。

それでは、住民説明会で説明する内容についてですが、資料 1-2 住民説明会資料をご覧ください。学校統合の時は小学校で全ての学年が複式学級になる前に統合することとしておりますので、住民説明会では統計資料、教育内容、スケジュール、再編準備委員会について説明いたします。

1 ページから 6 ページまでですが、海陽町の人口推移について、人口統計の推移と児童生徒数の推移、令和 9 年度以降の児童生徒数の見込みについて説明します。

3 ページと 4 ページの赤で囲っている箇所になりますが、令和 10 年度に海部小学校で全ての学年が複式学級となる見込みです。この状況を説明するものです。児童生徒数が 2 つの学年で合わせて 16 人以下になると複式学級になり、教員が学年の異なる児童生徒の授業を受け持つこととなります。また、1 クラスあたりの児童生徒数が少なくなっていくと、加配教員が少なくなり、教育の内容に制限がかかってくる影響があります。

7 ページを開いてください。海陽町の教育については、昨年度策定しました 第 4 期海陽町教育振興基本計画が令和 8 年 4 月から始まっています。本町の特徴ある教育の一つであるグローバル教育 ICT 教育を取り上げて、複式学級になるとこれらの教育の推進に影響が出ることを説明します。

8 ページを開いてください。再編統合の進め方については、海部小学校と海南小学校を統合し、海陽中学校区を一つの小中学校に編成し、穴喰小学校と穴喰中学校はそのまま穴喰中学校区とすることを説明します。統合する学校の位置については、海南小学校の位置で統合、両中学校区においてチェンスクール方式を継続あるいは導入する等の方策を立て、小中一貫教育を推進していく体制について望ましいと説明します。

9 ページをお願いします。再編統合に伴う準備事項については、平成 21 年度に実施された海南中学校と海部中学校の統合検討委員会および旧海南町の浅川、川上、海南小 3 小学校の統合検討委員会、平成 22 年度に実施された小中学校統合執行委員会で審議された事例を参考に進めていくことを説明します。また、学校再編準備委員会の立ち上げと同時に、学校跡の活用について検討する委員会の立ち上げも予定しています。以上で説明を終わります。

(皆津委員長)

いま、事務局より住民説明会開催の説明をしていただきました。内容への質問はありませんか。
3地区の説明会では、対象者は誰でしょうか。

(事務局)

保護者の方と全住民の方で、広報誌と海陽町のホームページで周知しています。小中学校と保育所、こども園に案内しています。

(小山委員)

穴喰地区の説明会もここまでの説明ですか。穴喰の統合についての説明まで行いますか。

(事務局)

今回は海南小学校と海部小学校の統合の話になります。小学校、中学校一校一校体制になるタイミングというのは、再編の基本計画に示しています。時期については触れていません。今回の住民説明会は海南小学校と海部小学校の再編と統合というものがメインになりますので、穴喰地区も資料は同じですし、穴喰の統合の質問が出たときは、同じような説明になります。

(小山委員)

統合しだしたら早いだらうなっていうのはみんなが思っていると思います。穴喰はどこに統合するのかで住民の考えは違ってくる。前の説明会で、決まってはいいけど、ここだよっていうのがないと、何の意見も出すことができないっていう意見が出たと思うんです。今回は、ある程度その意見を踏まえて、答えを出した方がいいのではと思います。

(教育長)

今回この再編統合の基本計画に基づいた形で、学校のあり方検討委員会を立ち上げて、統合時期も含めていろいろ議論をしていただいて、決定してきました。この1校1校体制というのは、これからの児童生徒数を見ると、最終的には、やむを得ないでしょうという結論付けであったので、必ず1校1校体制にしますという条件ではないのです。答申の時の意見もここにも書いてあるんですが、1校1校体制になるときは、災害に強いところに校舎を新しくつくるという条件付きで答申をいただいているので、国道の改修計画を踏まえて決めていく、本当に災害に強いところを考えていただいて、今の状況でここにしますとかいう案が全く出てないのが正直な話です。場所をどこに持っていったとしても、通学で、海岸線を走るんですよね。地震が起こって津波が起きた時に、そこを走る危険性が気になる場所なので、一番より安全なところを考えるべきだと。

(辻委員)

海部小学校と海南小学校の統合の話で、海南小学校の方へ子どもが来た場合、教室は足りるのですか。

(事務局)

問題ありません。

(瀬尾委員)

統合まで実質一年ちょっと、その学校の新一年生の入学説明とか、いろいろ備品の準備とか、校歌とか制服とかの設定などスケジュールはどうなりますか。

(事務局)

三地区の住民説明会を進めていって、その後再編の準備委員会を立ち上げて、校名とか校歌、それから校旗、校訓、あと諸々のすべてのことの内容についていろいろご協議いただいて、学校跡地利用についても検討していくこととしています。

(教育長)

海南小と海部小の子どもたちが一緒になるというところで、いろんな面で不安があるとか、それからそれぞれの学校で特徴的な取り組みをいろいろやっていますので、その辺のすり合わせ、それは子どもたちがスムーズに学校生活が送れるような支援が一番大きなところかなと思っていますので、交流の機会をどんどん増やしたりして、いろんなことがやっていけるような方向です。

(皆津委員長)

学校統合準備委員会について、詳しく説明してください。

(事務局)

海南小学校、海部小学校再編準備委員会を立ち上げまして、委員は今時点では海南小学校、海部小学校の校長先生、教頭先生と海陽中学校の校長先生、そして保護者代表と住民の方代表者と教育委員会となっております。

(辻委員)

再来年、入学する1年生は戸惑うと思うので、準備委員会を早く立ち上げて、進めていかないといけないと思います。

(事務局)

できるだけ丁寧に説明させていただいて、その上で皆さんも同じ方向を向いて、その次の準備委員会の方で、どのようにしたら子どもに質の高い教育環境を保っていけるのかというようなこと、教育長からお話ありましたとおり、生徒間の交流はもちろんのことながら、いろいろなところに配慮しながら進めていけたらと思っています。

(平岡委員)

前回の説明会と今回と明確に違うことは何でしょうか。

(事務局)

前回の住民説明会は学校再編統合基本計画の策定を説明し、今後の学校体制のあり方、流れでしたが、今回の住民説明会は海南小学校と海部小学校の統合に焦点を当てて話をしていくということになります。

(谷本委員)

準備委員会なんですけど、未就学児等の保護者の方とか、多く入っていただいたり、PTA 会長さんだけでなく、低学年の親御さんとか、これから入学を考える方に準備委員会にも参加いただいたりとかして、もう一度各団体から、例えば幼稚園から未就学児の保護者への呼びかけというのをして、たくさんの方に住民説明会に来ていただけたらいいと思います。

(事務局)

案内は、未就学児の方ということで、保育所、こども園にも案内通知をさせていただいております。

(谷本委員)

海部地区は再編統合って言うと吸収されるのではないかっていう不安があるので、多分学校の場合とか学校名とか、説明会で質問が出るかなと思うんですけど、どうでしょうか。

(事務局)

学校再編基本計画の中でも、校舎は新たに建てないという設定の上で、その校舎に対して入る生徒の数を確認し、海南小の施設に新たに学校をつくるというようなことでありますので、ここにも書いてある通り、校名から始めるという流れになるかと思います。

(南委員)

先ほどか質問されている統合のスケジュールに関して、詳細なスケジュールが見てわかるものがあるといいかなと思います。令和 10 年に向けて何をいつまでに決めます、課題はこうです、これはいつまでに決めますといったことがわかるようにです。

(谷本委員)

学校では特別支援の教室が足りてないのではないかという気がするんですが、どうでしょうか。

(事務局)

新たに入ってこられる児童生徒の状況、支援委員会での話合いになろうかと思うので、話をしな

がら、進めていきます。

（岸本委員）

海南小学校については、多少は空き教室もあって、資料室として使っている広いスペースもありますので、特別支援学級を置くこともできます。先ほど教育長もおっしゃったように、子ども、学校現場を預かる者としては、子どものことを中心に考えますので、海部も海南もそれぞれ特徴のある特色のある教育を展開していますので、それが一緒になることによって、どちらかがなくなるというのではなくて、双方がうまく持ち寄ってできるような教育ができる体制になっていきたいなと思っています。

（長尾委員）

今までの流れを切りそうな質問なんですけど、2校2校体制が令和10年に進みますけど、今回初めて知ったんですけど、これは決定で、令和11年にしますよとかいうことはないんですか。

（事務局）

学校再編基本計画の中で、人数も減ってくることも見越したうえで、令和9年度以降に海南・海部小学校の再編統合も含めて考えていくことになっていて、複式学級になる前に再編統合することが示されており、令和10年に海部小学校は複式を免れない状況になるというのがもう確実に出ているので、学校再編基本計画のとおり進んでいくものです。

再編準備委員会とか、皆さんにいろいろ意見をいただいてですね、今言った校名のこととか、いろいろ具体的な内容で、児童生徒たちに質の高い本当の教育環境をつくっていくためには何が必要なのかしっかり考えていくことが大事と思っています。

（教育長）

長尾委員さんのご質問なんですけど、令和3年から手続きを踏んで、6年目になるんです。手続きを踏みながら、この検討委員会で決めて、教育委員会が一方的に決めた内容は一つもありません。この委員会へ諮問をして答申をいただいて、その意見を尊重した形でずっと進めているので、委員の皆さんからの答申に令和10年度ということを示され進んでいます。皆様方にしっかりと共有することが一番大事になると、そういうふうに思っていますので、不安を一つ一つ聞きながら対処して、皆さんが不安なくいけるような体制をするために、この説明会の開催をさせていただくというところなんです。

（皆津委員長）

広報はどうなっていますか。

（事務局）

この会で決まったことをホームページでお知らせし、広報では、記事を連載的に公開していま

す。全町民皆さん対象に、丁寧に伝えています。この検討委員会で、住民説明会の報告をしますの
で、皆様方にもいろいろ意見をいただきますのでよろしくお願いします。

（平岡委員）

先生は増えるのでしょうか。

（教育長）

それはないです。学校の教員の定数というものは法律で決まっているので、国、県の基準があり
まして、ただし、再編、統合したら何年間は加配の先生つけてもらえた実績があります。

（平岡委員）

恵の園が合併した時は、保育園の中に恵の園の先生と一緒に入ってくれて、子どもたちは安心し
ていたなと感じていました。

（亀山委員）

令和 10 年の統合は決まってて、何月かはまだ決まってないのですか。

（事務局）

4 月からになります。

（南委員）

今回の話は令和 10 年に海部小学校が複式学級になる見込みであることから、話が進んでいると思
うんですけども、複式学級になると統合しないといけないルールがあるのですか。

（事務局）

ルールではなくてですね、あり方検討委員会の中で、複式学級になると、一人の先生が 2 つの学
年の生徒さんを一つの教室に入れて教えるという形になりますので、例えば 1、2 年なのか、もしか
したら 3 年生と 6 年生なのかもわかりませんし、こっち側は国語をやるけど、こっち側は理科かも
わからないし、そういう形で一人の先生が学年の違う生徒さんに教える形になります。一方で教え
ている時は、もう一方は自習だったり、何か違うことをしてもらわないといけないという形になっ
てしまって、それがあり方検討委員会の中で質の高い教育環境ではないので、再編統合を進めてい
くことになったという経過です。

（南委員）

そういうケースになった時に、教員の数を増やすことは難しいのですか。

（教育長）

現在海部小学校は、2つは単式2学年で、あとは複式学級です。今のところ複式学級はそれを解消するために県から一人教員を入れていただいています。もう一つは、教頭が担任に入って解消しています。ただし、全てが複式になると、県教員の加配はないってことははっきり言われています。2つの学年を一人の教師が授業をするというのは、子どもにとっても教員にとっても、非常に難しいところです。

（南委員）

海部小学校のその保護者さんから意見はあるのですか。

（瀬尾委員）

私自身、町外出身で、今までの海部小学校東と西が合併したことを知らないのですが、先生のこととか現場教育とか考えたら、合併はいいかなと理解はしているつもりなんですけど、一番大事なことは、これから令和10年度に1年生以上のお子さん方の保護者の方の意見が大事だと思います。

（皆津委員長）

昨日IT教育の会議があったんですが、海部小学校は小規模校でも全国から注目される状況になっていると思うんです。小さいからこそできる教育もあるし、そのITとパソコンも使って、担当の先生がしてくれるのですが、IT教育とか情報教育について保護者の意見はどうですか。

（瀬尾委員）

海南の校舎に海部の少人数の子たちが行くとなると、それこそ吸収って言い方はあれですけど、どうしても生徒数の面でも海部小学校の生徒さんたちの方が萎縮してしまうのではないかと思います。それを海部小学校の保護者の方がちょっと心配されてる方もいらっしゃるということをお伝えできたらなと思います。

（教育長）

その辺のことにつきましては、しっかりとやっていきたいと思っています。海部小学校には担当した先生がいろんなことを始めていただいて、そしてそれが広げていく形を取ったわけですね。海南小学校も他の学校もそうですが、今は普通に授業の中で子どもたちも先生方もICTをしっかりと使った形で授業展開できていますので、双方のいいところを両方取り入れてやっていくのがもっとパワーアップができるかなと思っています。

（皆津委員長）

より良い統合に向けて、考えていけたらと思います。他にご意見ありますか、無いようでしたらその他に移ります。事務局の方でその他ありますか。

■ その他

(事務局)

住民説明会でいろいろお話しさせていただいた内容をお返しします。次回会議が開かれる時には
またお集まりいただけたらと思います。

閉会